

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名) ライオンGRLLC-A材
会社名 住友大阪セメント株式会社
住所 東京都千代田区六番町6番地28
担当部門 建材事業部
電話番号 03-5211-4752
FAX番号 03-3221-5624
緊急連絡先 建材事業部技術グループ
緊急連絡先電話番号 047-457-7651
推奨用途及び使用上の制限
コンクリート補修・補強材として用いられる

2. 危険有害性の要約

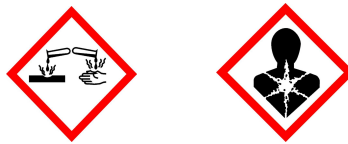
GHS分類

健康に対する有害性 皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1
発がん性 : 区分1A
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分1 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分1 (呼吸器系、腎臓)

記載がないものは分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷
重篤な目の損傷
発がんのおそれ
吸引した場合、臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ
呼吸器系の障害
長期又は反復暴露による臓器 (呼吸器系、腎臓) の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】 : 使用前に取扱説明書 (製品安全シートなど) を入手すること。

安全データシート

すべての安全・注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を着用すること。

取扱い後はよく手、顔を洗うこと

保護手袋／保護衣／保護長靴／保護眼鏡／防塵マスクを着用すること。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸引しないこと。

換気の良い状態で使用すること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。

【応急措置】

: 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断／手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

: 施錠して保管すること。

【廃棄】

: 内容物／容器を、国／都道府県／市町村の規則にしたがって廃棄すること。

安全データシート

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名 : セメント

化学特性 (化学式等)

成分名	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ケイ酸カルシウム	5~15	$3\text{CaO}\cdot\text{SiO}_2$ 、 $2\text{CaO}\cdot\text{SiO}_2$	(1) -194	12168-85-3
アルミン酸カルシウム	3~13	$3\text{CaO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$ ※、 $12\text{CaO}\cdot 7\text{Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{CaO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$	(9) -2408	※12042-78-3
硫酸カルシウム	1~3	CaSO_4	(1) -193	7778-18-9
珪砂※1	55~65	SiO_2	(1) -548	7631-86-9
シリカ (遊離シリカ)	0~7	SiO_2	(1) -548	14808-60-7
ガラス繊維	0~3	SiO_2 - ZrO_2 - Al_2O_3 系ガラス	-	65997-17-3
その他含有成分	10~20	非公開	非公開	非公開

※1 珪砂にシリカ (結晶質シリカ) として最大 62%含有する可能性がある。

労働安全衛生法: 第 57 条の 2 第 1 項 (通知対象物 シリカ)

化学物質排出把握管理促進法: 第一種指定化学物質、第二種指定化学物質に該当しない

毒劇物法 : 該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、咳等が治まらなければ医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合 : 速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。

目に入った場合 : 速やかに清浄な水で最低 15 分洗眼した後、医療処置を受ける。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄した後、医療処置を受ける。

被災者の意識が朦朧としている場合、意識がない場合は、無理に吐かせないで速やかに医療処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 不燃物質であるため製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤 : 情報なし

安全データシート

6. 漏出時の措置

漏出時には、できるだけ粉体の状態で回収する。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 回収作業には、保護手袋、保護長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項

: 粉塵が飛散しないようにする。

: 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。

回収、中和

: 漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。やむをえず、床面等に残ったものは水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。

: 回収物や回収した洗浄水は、13. 廃棄上の注意に従い、廃棄または排水する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 目、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具（保護手袋、保護衣、保護長靴、保護メガネ、防塵マスク等）を着用する。

: 換気に注意する。

: 取扱い後は、顔、手、口等を水洗する。

局所排気・全体排気

: 屋内で取り扱う場合は、換気に注意する。

注意事項

: 袋の場合、破袋等につながるような粗暴な取扱いをしない。

安全取扱い注意事項

: アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。

保管

適切な保管条件

技術的対策

: 乾燥した場所に保管する。

混触禁止物質との分離

: 水と接触のおそれがない場所に貯蔵すること。

推奨する容器包装材料

: 防湿性の容器

保管方法

: 施錠その他の方法により、部外者が触れない措置を講ずること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

: 土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん

$$E = 3.0 / (1.19Q + 1)$$

E=管理濃度(mg/m³) Q:遊離けい酸(結晶質シリカ)含有率(%)

安全データシート

製品名: ライオンGR L C-A材

作成日: 1999年10月 1日

改訂日: 2015年 3月 31日

5/7

Q = 69% のとき、E = 0.036mg/m³

許容濃度

日本産業衛生学会 (2010 年)

吸入性結晶質シリカ	0.03mg/m ³ (結晶質シリカ)
第2種粉塵	吸入性粉塵 1mg/m ³
	総粉塵 4mg/m ³

ACGIH

TLV-TWA(2010年) 0.025mg/m³ (結晶質シリカ)

設備対策

: 室内で取扱う場合は許容濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。
: 多量に取扱う場合は集塵機を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 保護メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色)	: 固体、粉末、灰白色
臭い	: 無臭
pH	: 水と接触すると 11~13
融点	: 約 1000℃以上
比重 (相対密度)	: 2.60~3.00 g/cm ³ (20℃)
溶解性	: 水に難溶
その他	: 爆発性なし、水硬性

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 水と反応して安定固定化する。
危険有害反応可能性	: 該当しない。
危険有害な分解生成物	: 該当しない。

11. 有害性情報

急性毒性 : 情報なし

皮膚腐食性/刺激性、眼に対する重篤な損傷/刺激性 :

水と接触すると強アルカリ性 (pH11~13) を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可

安全データシート

能性がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性:

極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギー反応が起こる可能性がある。

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし。結晶質シリカは、IARCでGroup 1に分類されていることから、区分1Aに分類されている。本製品は、区分1Aである結晶質シリカを0.1%以上含有する可能性があるため区分1Aに分類した。

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性(単回暴露):

データなし。短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼす結晶質シリカを最大69%含む可能性があるため、区分1(呼吸器系)に分類した。

特定標的臓器毒性(反復暴露):

多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。特定標的臓器毒性(反復暴露)を持つと分類されている結晶質シリカを最大69%含む可能性があるため、区分1(呼吸器系、腎臓)に分類した。

吸引性呼吸器有害性 : データなし

1 2. 環境影響情報

環境影響/生態毒性 : 接触水はアルカリ性(pH 11~13)を呈するから、環境影響を及ぼさないように注意する。

残留性/分解性 : 情報なし

生体蓄積性 : 情報なし

土壌中の移動性 : 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。

: 洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。

: 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

汚染容器及び包装 : 容器は、産業廃棄物として処分する。

安全データシート

製品名: ライオンGRLC-A材

作成日: 1999年10月 1日

改訂日: 2015年 3月31日

7/7

14. 輸送上の注意

国際規制によるコード及び分類に関する情報 : 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件 :

- ・ 粉塵のたたない方法で輸送する。
- ・ 破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。
- ・ 湿気、水漏れに注意する。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 粉塵障害防止規則第2条 粉塵作業

労働安全衛生法 : 第57条の2第1項 通知対象物質 政令番号312号 シリカ

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 第一種、第二種指定化学物質に該当しない

毒劇及び劇物取締法 : 該当しない

消防法 : 該当しない

船舶安全法 : 該当しない

航空法 : 該当しない

その他 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

: じん肺法

16. その他の情報

本データシートは、日本工業規格 Z7253:2012「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実体に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。

安全データシート

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 (製品名) ライオンGRLLC-B材
会社名 住友大阪セメント株式会社
住所 東京都千代田区六番町6番地28
担当部門 建材事業部
電話番号 03-5211-4752
FAX番号 03-3221-5624
緊急連絡先 建材事業部技術グループ
緊急連絡先電話番号 047-457-7651
推奨用途及び使用上の制限
コンクリート補修・補強材として用いられる

2. 危険有害性の要約

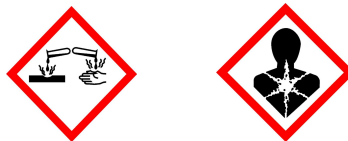
GHS分類

健康に対する有害性 皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1
発がん性 : 区分1A
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分1 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分1 (呼吸器系、腎臓)

記載がないものは分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷
重篤な目の損傷
発がんのおそれ
吸引した場合、臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ
呼吸器系の障害
長期又は反復暴露による臓器 (呼吸器系、腎臓) の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】 : 使用前に取扱説明書 (製品安全シートなど) を入手すること。

安全データシート

すべての安全・注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を着用すること。

取扱い後はよく手、顔を洗うこと

保護手袋／保護衣／保護長靴／保護眼鏡／防塵マスクを着用すること。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸引しないこと。

換気の良い状態で使用すること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。

【応急処置】

: 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断／手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

: 施錠して保管すること。

【廃棄】

: 内容物／容器を、国／都道府県／市町村の規則にしたがって廃棄すること。

安全データシート

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名 : セメント

化学特性 (化学式等)

成分名	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ケイ酸カルシウム	20～30	$3\text{CaO}\cdot\text{SiO}_2$ 、 $2\text{CaO}\cdot\text{SiO}_2$	(1) -194	12168-85-3
アルミン酸カルシウム	10～20	$3\text{CaO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$ ※、 $12\text{CaO}\cdot 7\text{Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{CaO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$	(9) -2408	※12042-78-3
硫酸カルシウム	1～5	CaSO_4	(1) -193	7778-18-9
珪砂※1	15～25	SiO_2	(1) -548	7631-86-9
軽量骨材	3～10	$\text{SiO}_2\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$	-	93763-70-3
シリカ (遊離シリカ)	0～10	SiO_2	(1) -548	14808-60-7
ガラス繊維	0～3	$\text{SiO}_2-\text{ZrO}_2-$ Al_2O_3 系ガラス	-	65997-17-3
その他含有成分	20～30	非公開	非公開	非公開

※1 珪砂にシリカ (結晶質シリカ) として最大 24%含有する可能性がある。

労働安全衛生法: 第 57 条の 2 第 1 項 (通知対象物 シリカ)

化学物質排出把握管理促進法: 第一種指定化学物質、第二種指定化学物質に該当しない

毒劇物法 : 該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、咳等が治まらなければ医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合 : 速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。

目に入った場合 : 速やかに清浄な水で最低 15 分洗眼した後、医療処置を受ける。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄した後、医療処置を受ける。

被災者の意識が朦朧としている場合、意識がない場合は、無理に吐かせないで速やかに医療処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 不燃物質であるため製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤 : 情報なし

安全データシート

6. 漏出時の措置

漏出時には、できるだけ粉体の状態で回収する。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 回収作業には、保護手袋、保護長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項

: 粉塵が飛散しないようにする。

: 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。

回収、中和

: 漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。やむをえず、床面等に残ったものは水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。

: 回収物や回収した洗浄水は、13. 廃棄上の注意に従い、廃棄または排水する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 目、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具（保護手袋、保護衣、保護長靴、保護メガネ、防塵マスク等）を着用する。

: 換気に注意する。

: 取扱い後は、顔、手、口等を水洗する。

局所排気・全体排気

: 屋内で取り扱う場合は、換気に注意する。

注意事項

: 袋の場合、破袋等につながるような粗暴な取扱いをしない。

安全取扱い注意事項

: アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。

保管

適切な保管条件

技術的対策

: 乾燥した場所に保管する。

混触禁止物質との分離

: 水と接触のおそれがない場所に貯蔵すること。

推奨する容器包装材料

: 防湿性の容器

保管方法

: 施錠その他の方法により、部外者が触れない措置を講ずること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

: 土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん

$$E = 3.0 / (1.19Q + 1)$$

E=管理濃度(mg/m³) Q:遊離けい酸(結晶質シリカ)含有率(%)

安全データシート

製品名: ライオンGRLC-B材

作成日: 1999年10月 1日

改訂日: 2015年 3月 1日

5/7

Q=34%のとき、E=0.072mg/m³

許容濃度

日本産業衛生学会 (2010年)

吸入性結晶質シリカ	0.03mg/m ³ (結晶質シリカ)
第2種粉塵	吸入性粉塵 1mg/m ³
	総粉塵 4mg/m ³

ACGIH

TLV-TWA(2010年) 0.025mg/m³ (結晶質シリカ)

設備対策

: 室内で取扱う場合は許容濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。

: 多量に取扱う場合は集塵機を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 保護メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色)	: 固体、粉末、灰白色
臭い	: 無臭
pH	: 水と接触すると 11~13
融点	: 約 1000℃以上
比重 (相対密度)	: 1.30~2.00 g/cm ³ (20℃)
溶解性	: 水に難溶
その他	: 爆発性なし、水硬性

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 水と反応して安定固定化する。
危険有害反応可能性	: 該当しない。
危険有害な分解生成物	: 該当しない。

11. 有害性情報

急性毒性 : 情報なし

皮膚腐食性/刺激性、眼に対する重篤な損傷/刺激性 :

水と接触すると強アルカリ性 (pH11~13) を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可

安全データシート

能性がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性:

極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギー反応が起こる可能性がある。

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし。結晶質シリカは、IARCでGroup 1に分類されていることから、区分1Aに分類されている。本製品は、区分1Aである結晶質シリカを0.1%以上含有する可能性があるため区分1Aに分類した。

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性(単回暴露):

データなし。短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼす結晶質シリカを最大34%含む可能性があるため、区分1(呼吸器系)に分類した。

特定標的臓器毒性(反復暴露):

多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。特定標的臓器毒性(反復暴露)を持つと分類されている結晶質シリカを最大34%含む可能性があるため、区分1(呼吸器系、腎臓)に分類した。

吸引性呼吸器有害性 : データなし

1 2. 環境影響情報

環境影響/生態毒性 : 接触水はアルカリ性(pH 11~13)を呈するから、環境影響を及ぼさないように注意する。

残留性/分解性 : 情報なし

生体蓄積性 : 情報なし

土壌中の移動性 : 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。

: 洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。

: 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

汚染容器及び包装 : 容器は、産業廃棄物として処分する。

安全データシート

製品名: ライオンGRLC-B材

作成日: 1999年10月 1日

改訂日: 2015年 3月 1日

7/7

14. 輸送上の注意

国際規制によるコード及び分類に関する情報 : 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件 :

- ・ 粉塵のたたない方法で輸送する。
- ・ 破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実にを行う。
- ・ 湿気、水漏れに注意する。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 粉塵障害防止規則第2条 粉塵作業

労働安全衛生法 : 第57条の2第1項 通知対象物質 政令番号312号 シリカ

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 第一種、第二種指定化学物質に該当しない

毒劇及び劇物取締法 : 該当しない

消防法 : 該当しない

船舶安全法 : 該当しない

航空法 : 該当しない

その他 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

: じん肺法

16. その他の情報

本データシートは、日本工業規格 Z7253:2012「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実体に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	ライオン GRLC-C 材
会社名	住友大阪セメント株式会社
住所	東京都千代田区六番町6番地28
担当部門	建材事業部
電話番号	03-5211-4752
FAX番号	03-3221-5624
緊急連絡先	建材事業部技術グループ
緊急連絡先電話番号	047-457-7651

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

火薬類	: 分類対象外
可燃性/引火性ガス	: 分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性/酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類できない
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 分類できない
自然発火性固体	: 分類対象外
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類できない
酸化性液体	: 分類できない
酸化性固体	: 分類対象外
有機過酸化物	: 分類できない
金属腐食性物質	: 分類できない
急性毒性	
経口	: 区分4
経皮	: 区分5
吸入 (ガス)	: 分類対象外
吸入 (蒸気)	: 区分外
吸入 (粉塵、ミスト)	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外

安全データシート

作成日:1999年10月01日

改訂日:2015年03月01日

2/8

眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分外
感作性	
呼吸器	: 分類できない
皮膚	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 区分外
吸引性呼吸器有害性	: 区分外
水生環境	
急性有害性	: 区分外
慢性有害性	: 区分外

GHS ラベル要素



危険有害性情報:

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害のおそれ

注意書き:

《安全対策》

使用前に本 MSDS を読み、全ての安全情報を理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

《応急措置》

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

暴露した時、または、気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

《廃棄》

内容物や容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

有害性:

眼に入ると刺激がある。

安全データシート

作成日:1999年10月01日

改訂日:2015年03月01日

3/8

継続的な皮膚接触により炎症を起こす場合がある。

環境影響:

河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり汚濁させる。

物理的及び化学的危険性:

特になし

重要な徴候:

特になし

想定される非常事態の概要:

特になし

国/地域情報:

分類基準に該当しない

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

化学名又は一般名:

合成ゴム系混和材

化学式:

非公開

濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	略号	濃度又は濃度 範囲	官報公示整理番号		CAS No
			化審法	安衛法	
スチレン・ブタジエン共重合体	—	40~50%	非公開	非公開	非公開
水等	—	50~60%	非公開	非公開	非公開

法規制対象成分:

成分	安衛法	PRTR 法
スチレン・ブタジエン共重合体	表示・通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない
水等	表示・通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物:

特になし

4. 応急措置

吸入した場合:

エマルションは水を分散媒体とした揮発性の低い水性液体で吸入の可能性は少ない。

もし気分が悪くなった時は、空気の清浄な場所に移り安静にする。

安全データシート

皮膚に付着した場合:

接触部位を水・石鹼で十分洗い流す。

カブレの出た場合は医師の診断を受ける。

眼に入った場合:

清浄な水で15分以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合:

直ちに医師の処置を受ける。

最も重要な徴候及び症状:

特になし

応急処置をする者の保護:

救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項:

特になし

5. 火災時の措置

消火剤:

本製品は水を多量に含む為、そのままでは引火・発火等の燃焼性はない。もし、製品乾燥物に着火した場合は次の処置をとる。

水・炭酸ガス・ドライケミカル等一般消火剤。

使ってはならない消火剤:

特になし

火災時の特有の危険有害性:

特になし

特有の消火方法:

製品乾燥物に着火した場合は、注水・水噴霧・ドライケミカル等一般消火剤を使用し消火は風上から行う。

消火を行う者の保護:

消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク、給気式呼吸用保護具）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項／保護具及び緊急時措置:

出来るだけ直接皮膚に触れないようにし、保護手袋（ゴム又は樹脂製）、保護眼鏡（ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプ）、長靴（ゴム製）を着用する。

環境に対する注意事項:

万一、公共水域へ流出した場合は、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督官庁へ届

安全データシート

け出てください。

本製品は河川・湖沼等に流入すると少量でも広範囲にわたり汚濁させる。

河川・湖沼等公共水域及び下水への流入は絶対に避ける。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

漏出源を遮断し、漏れを止める。

少量の場合、乾燥砂・オガクズ・ウエス等に吸収させ回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。

二次災害の防止策：

特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

容器から漏出させないようにし、保護手袋・保護眼鏡・マスクを着用する。

局所排気・全体排気：

特になし

注意事項：

室内での取扱いには換気を良くする。

安全取扱い注意事項：

取扱い後、うがいを行い石鹼で手を洗うこと。

保管

技術的対策：

特になし

適切な保管条件：

直射日光を避け、凍結を避けるために密閉容器で5～40℃の室内に保管する。

安全な容器包装材料：

弊社の容器及びSUS製容器等

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：

使用に当たっては換気を良くする。

換気の悪い場所で使用する場合、換気装置を設置する。

取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設置することが望ましい。

管理濃度：

設定されていない

安全データシート

許容濃度:

設定されていない

保護具

呼吸器の保護具:

特になし

手の保護具:

ゴム又は樹脂製が良い。

眼の保護具:

ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプが良い。

皮膚及び身体の保護具:

厚手の布製で長袖、長ズボンを着用することが望ましい。

適切な衛生対策:

特になし

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状态、形状、色)	: 液体、乳白色
臭い (臭いの閾値)	: ラテックス臭
pH	: 8.7
融点/凝固点	: 製品 0℃
沸点	: 製品 100℃
初留点	: データなし
沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度 (発火点)	: データなし
燃焼性 (固体、ガス)	: データなし
燃焼又は爆発範囲 (下限)	: データなし
燃焼又は爆発範囲(上限)	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
比重(相対密度)	: 製品 1g/cm ³
溶解性	: 製品 水に混和する
オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
その他のデータ	: 特になし

安全データシート

作成日:1999年10月01日

改訂日:2015年03月01日

7/8

10. 安定性・反応性

化学的安定性	: 室温では安定
危険有害反応可能性	: 水との反応性はない
避けるべき条件	: 加熱・高温・直射日光・氷点下
混触危険物質	: 水禁忌物質と同一場所での保管は避ける
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: データなし
呼吸器感作性/皮膚感作性	: データなし
変異原性(生殖細胞変異原性)	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器/全身毒性—単回暴露	: データなし
特定標的臓器/全身毒性—反復暴露	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚類	: データなし
甲殻類	: データなし
藻類	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
他の有害影響	: 知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行わない。

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

安全データシート

作成日:1999年10月01日

改訂日:2015年03月01日

8/8

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	: 分類基準に該当しない
国連番号	: 分類基準に該当しない
品名 (国連輸送品名)	: 分類基準に該当しない
容器等級	: 分類基準に該当しない
海洋汚染物質	: 分類基準に該当しない

国内規制 : 特になし

特別の安全対策 : 特になし

輸送の特定の安全対策及び条件:

直射日光を避け、5～40℃で輸送する。

容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

応急措置指針番号 : なし

15. 適用法令

※労働安全衛生法 表示/通知対象物質及び化学物質排出把握管理促進法は、3.組成・成分情報を参照願います。

<製品>

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

《使用成分情報》

該当なし

16. その他の情報

本データシートは、日本工業規格 Z7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実体に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。